

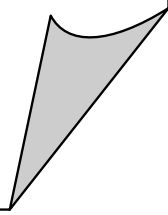


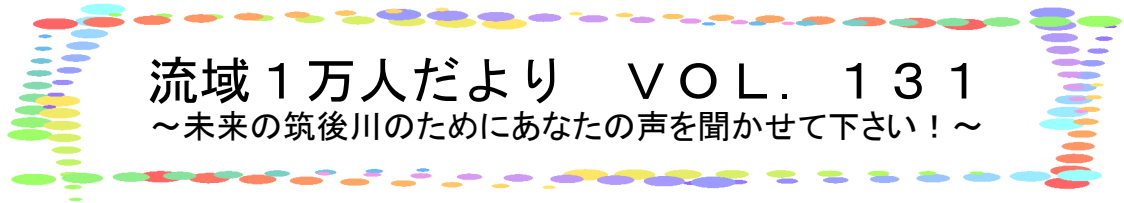
流域1万人だより 131

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

131. 三根公民館(みやき町三根地区)にて

「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」 (2005.08.02)





流域 1 万人だより VOL. 131

～未来の筑後川のためにあなたの声を聞かせて下さい！～

平成17年8月2日(火)に三根公民館(みやき町三根地区)にて「筑後川の今・昔と未来を考える住民懇談会」を開催し、45名の住民の方から活発な意見が出されました！！

地域名	みやき町
1. 代表者懇談会	
② 住民懇談会	
出席者	
国	7名
県	2名
市町村	3名
水機構	2名
住民	45名

主な意見

【治水について】

☆江口から264号の分岐点まではカーブになっている。大水の際は、そちらに力がかかってくるのではないかな。
 ☆堤防しか逃げるところがないから、堤防を拡幅・補強して、ヘリコプターも降りられるようにしてほしい。
 ☆広川の防災センターと旧河川の坂口に水が当たってきている。向こうはどんどん整備してきたので、大雨のときは水が急に流れて削って、坂口は危険にさらされている。早急に整備してほしい。
 ☆28災時、天建寺橋から500mぐらいのところを下から水がどんどん漏れた。
 ☆28災時も現在も、堤防直下に深さ3mの用水路があり、その下2mは軟弱な泥土である
 ☆堤防沿いの1～2箇所を防災公園にしてほしい。
 ☆洪水の時の情報源はテレビ等だが、他に手段があれば教えてほしい。パソコン以外に電話で聞くことはできないのか。
 ☆佐賀県に住んでいるが、福岡・大分の雨量が知りたい。日田から上流で雨が降ったとき、ダムから放流されて船が流された。

【利用について】

☆昔はシジミをとったり、魚を釣ったり、ここは全部陸続きで学校へも歩いていった。締め切ってから坂口部落は犠牲に。
 ☆坂口の住民だが、広川に橋をかけて陸続きにして、城島と行き来できるようにしてもらいたい。坂口は袋小路である。
 ☆子供たちが自由に川のそばまで行ける整備を考えてもらいたい。
 ☆天建寺橋から264号線までの土手は、舗装だけはできているが全く同じ幅で、事故が多い。
 ☆天建寺橋上流に大きい砂浜があって、泳いだり魚をとったりして遊んだ。今は寄り付ける場所がない。
 水のそばに行ってもぬるぬるしたり、ヘドロがたまって足を踏み入れられない。昔いた魚類が全く見受けられない。

【環境について】

☆昔は小さな沼がいっぱいあって、シラスのウナギ、エビ、ハゼなどの小魚もいっぱいいて、遊ぶには事足りた。
 その副産物として、日本住血吸虫病にやられた。

【管理について】

☆広川と筑後川の合流点はゴミの溜まり場になっている。
 ☆堤防下の水路のヘドロを除去し、排水をよくしてほしい。

【利水について】

☆筑後川の水をなぜ福岡に導かなければならないのか。そのために地区が犠牲になっている。
 ☆昔はアオで水を取って使っていた。今はアオがない。

【その他】

☆話ばかりにならず、実現するようお願いしたい。

懇談会の写真

